

としょしつだより



西原小学校
R 3.7.5

7月22日からよいよ夏休みが始まります。夏休みの課題図書が入荷しました。
その中から低・中・高に分けて紹介します。読書感想文の本を選んでください。

ていがくねんむ 低学年向け

「あなふさぎのジグモンタ」



えほん ト

(とみなが まい：作)
ジグモのジグモンタは「あなふさぎや」。洋服にあいてしまった穴をふさぐ仕事です。でもこのごろは、みんなすぐに新しいものをほしがり気落ちしてしまいます。(ひさかたチャイルド)



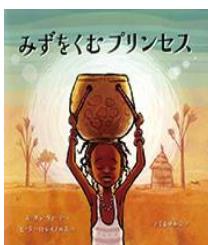
913 ス

「そのときがくるくる」

(すず きみえ：さく)

たのしみな給食の時間、くらいな食べものが入っていて、こまつたことはありませんか? この物語を読むと、くらいな食べものも、食べてみたくなるかもしれません。(文研出版)

「みずをくむプリンセス」



えほん ベ

(スザン・ヴァーデ：作)
朝早く起きて、ずっと遠くまで、きょうもわたしは、水をくみにいく。アフリカの水くみをする少女の1日をえがいた絵本です。

(さ・え・ら書房)

「どこからきたの?おべんとう」

(鈴木まもる：さく)

みんなの愛情、いっぱいつまってるおいしいおべんとうの中身は、どこから来て、どうやって食べられるようになったのでしょうか。

(金の星社)

ちゅうがくねんむ 中学年向け

「ぼくのあいぼうはカモノハシ」



933 エ

(ミヒヤエル・エングラー：さく)
ドイツに住む男の子ルフスは、動物園からにげだしたカモノハシに頼まれ、オーストラリアに帰るのを手伝うことに…。ゆかいな冒険物語。(徳間書店)



913 ト

「ゆりの木荘の子どもたち」

(富安陽子：さく)

77年前の「あの子」との約束をはたすために、突然、子どもになってしまったゆりの木荘のおばあさんたちの、時を越えたファンタジーです。

(講談社)

「わたしたちのカメムシずかん」



48 ス

(鈴木海花：作)
くさい虫、カメムシ。みんなで
がっこう 学校のまわりを探してみたら,
しゅ 35種も見つかった。宝石みたい
なカメムシもいたよ。どんな
ずかん 図鑑ができるかな? (福音館)

ちゅうがくねんむ
中学年向け

「カラスのいいぶん」



(嶋田泰子：作)

カラスには、毎日の時間割があるって知っていますか? 遊びを発明したり、子そだてをがんばったり……。知る、調べるたの 楽しさがいっぱいの1冊です。

(童心社)

48 シ

こうがくおんむ
高学年向け

「おいで、アラスカ！」



933 ウ

(アンナ・ウォルツ：作)
はんもく 反目しあっていたパークル
とスフェンの深まっていく
ゆうじょう 友情の鍵を介助犬のアラスカ
がにぎっています。生きること
への不安や、その不安を乗り越
える勇気も描いた作品です。

(フレーベル館)

「エカシの森と子馬のポンコ」



913 カ

(加藤多一：作)
こうま 子馬のポンコは、長老の木(エ
カシ)と不思議なカメムシたちと
もりく 森で暮らしている。季節の移ろい
とやがておとなになるポンコを
みずみずしく描いている物語。
(ポプラ社)



48 ク

「オランウータンに会いたい」

(久世濃子：作)

いまだ謎に満ちたオランウータンの生態。食生活、子育て、不思議な習慣、驚きの進化…。さあ、未知の世界をのぞいてみましょう!

(あかね書房)

「サンドイッチクラブ」



48 ク

(長江 優子：作)

たまこ 珠子は、ダブル塾 いの 小学6年生。そこで、別の学校の成績優秀なヒカルと出会う。性格や生活環境も違う2人が互いを認め成長していく物語。

(岩波書店)

お知らせとお願い



*期限（一週間）をすぎた本は、早く返しましょう。

*課題図書の他にも新しい本がけいています。ぜひ、図書室に来てください。

(7月8日から貸し出す予定です。)

※今年の夏休みの図書館の開館日は、7月26日から28日までです。時間は、
午前9時30分から12時、午後は1時から3時の予定です。